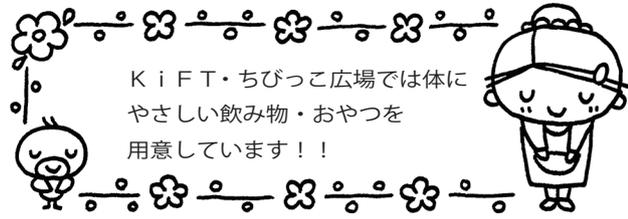


Come Come



2024年 5月号

☆ほめてのばしてラクラク子育て☆ ~ほめる編~

上手なほめ方ってなに？

よく「ほめて伸ばす」と言いますが、「すごい!」「えらい!」など大きさに言ってもわざとらしくて、子どもに響きません。

↓ では、どうしたらいいの？

「ほめる」ではなく「認める」と考えてみる

「ほめる」のを「認める」にするだけで難易度が下がります。なのに、効果はほめる以上にあります。例えば、積み木を高く積み上げていたら「高く積めたね!」、ご飯を完食したら「全部食べたんだね!」、おもちゃを片付けたら「おもちゃ片付けたね!」と、見たままのことを具体的に言います。

☆目の前の子どもの姿をそのまま口に出すだけで十分

「認める」ならどんな姿も認められるので「ほめる」より回数が多くなるし、子どもは、「ママパパがちゃんと見てくれている」と安心でき、さらに「ほめてもらえた」と変換しやすいんです。へんに、「ここがすごい!」とほめると、本当はそこではないところをほめてほしかった...なんてことも出てきて、親も、せっかくほめたのに、と悲しい気持ちになります。ほめるのが苦手という方は、まずは「認める」からはじめてみることをおすすめします。

☆共感や感謝の気持ちを伝える

子どもが何かいいことをしてきて本当にほめたいときは、「~できてえらいね」「おめでとう!」と、まるで評価するかのようにほめるよりも、「~できてうれしいね! やったね!」と共感したり、「~してくれたから助かったよ。ありがとう!」と感謝の気持ちを伝えてください。そのほうが、「評価」されるよりうれしさが倍増するはずです。

参照：てい先生の子育てのみんなの悩み、お助け中!

*子どもは「甘え」という形で、愛情を求めます。

甘えが満たされるとき、自分は愛されていると感じ、相手(ママ)に対する信頼と自分に対する信頼(自己評価)が育ちます。それが、安心感となり、子どもの頑張る力、意欲に繋がっていきます。また、相手を信じていることができる人は、思いやりを持ち、深い人間関係を築くことができます。

ゆうゆうK i F T (児童クラブ解放日)のお知らせ

ゆうゆう館のお部屋で、親子クッキングをしたり、お子さんを保育士に預けて、ママたちのための趣味の講座をひらいたりします(*^_^*)内容は下記の通りです。予約制になりますので、詳しくはスタッフまでお声をおかけ下さい。

お友達をお誘いの上、ご参加下さい。お待ちしております(*^_^*)

5月の予定 ...24日(金) 10:00~11:30 アロママッサージ教室

6月の予定 ...21日(金) 10:00~11:30 手作りおやつ教室(2歳以上の親子)

